

基礎・基本の定着を図る取組及び科学的な考察の充実を図る取組

【八潮市教育委員会】

1 学校・学年・教科 中学校・全学年・理科

2 ねらい

理科における確かな学力の向上への取組として、言語活動の充実を図る。

3 取組内容

本校の生徒は、非常に素直で、真面目に学習に取り組んでいる。しかし、基礎的・基本的な内容がなかなか定着しないことや自分の考えをきちんと伝えることが苦手なことが課題である。そこで、授業における基礎的・基本的な内容の定着を図るための取組と、科学的な考察の充実を図るための取組を行った。



(1) 基礎的・基本的な内容の定着のために

① プレゼンテーションを活用した繰り返し学習

理科の授業では、観察・実験を多く取り入れることが学力向上を図るために必要であるが、観察・実験には多くの時間がかかる。50分の授業の中で、いかに効率よく基礎的・基本的な内容を身につけさせるかを考え、プレゼンテーションソフトの導入を行った。プレゼン形式で基礎・基本の復習を行えば、短時間で多くの内容を復習することができる。また、最初の作成に時間はかかるが、一度作成してしまえば何回でも使えるし、他の先生との共有も可能なので、非常に効率的である。



② 家庭学習の習慣化

本校では、全校生徒を対象に、家庭学習の取組を行っている。学期当初に全生徒に家庭学習帳を配布し、各自のペースで、1日2ページ以上の家庭学習を行い、翌日担任がチェックし、励ましのコメントを記入している。

(2) 言語活動の充実のために

① 観察・実験レポートの充実

理科の授業では、年間の7割以上の授業で観察・実験を行い、必ず理科ノートに考察を記入させ、提出させている。ワークシートはあえて使わず、実験結果や考察を各自の工夫に任せて作成させている。特に、考察については、自分の考えや独自に調べたことなどを記入すると評価を高くし、十分に考えて作成するように指示している。

③ 話し合い活動の充実

観察・実験を行う際、必ず個人で予想を立てさせていたが、班全員で意見交換をする時間をもうけるようにした。話し合いの時間は、生徒の意欲向上や学習課題の明確化につながっている。

4 取組の成果

これらの取組によって、生徒の学習意欲は確実に高まり、理科の授業を楽しみにしている生徒が増えた。また、学力状況調査の結果も僅かずつではあるが正答率が向上している。今後も、楽しくわかりやすい授業を目指し、日々努力していく。